

建築物件は まだ価格差

高知中央地区
生コン協組

高知中央地区生コン協同組合（仮谷征二郎理事長、4社2工場）は、高知県生コンクリート協同組合連合会（山中伯会長）を窓口とする共販事業に参加している。

過去4年の実績によるシェア割りで、8月には各協組の工場に出荷管理装置を導入し、協組連が出荷調整を行っている。同協組の2工場も端末を設置、テータは協組連に送られている。

「土木物件は協組連が高知県建設業協同組合との共同購買契約を結んでおり、各協組に割り振られている。一方、民間建築物件は個々の営業で徐々に底上げしているものの、価格差もある状況だ。ただ、出荷管理装置を各工場に設置したため、各協組、各社間の信頼感の構築につながるものと期待している。建築物件の生コン価格を適正化することが最大の課題だ」（組合関係者）。

高知市内の生コン価格が低迷する7年前は、ほとんどの工場が同協組に加入していた。その後、混乱が生じ、市況が低迷するなか、脱退社が続ぎ、同協組の他

に市内に2協組が誕生。離合集散を経て現在の形になっている。

「当協組は協組連が推進する共販と値戻しについて、これに全面的に協力する立場をとっている。しかし組合が乱立する状態では市況の回復に対する不安要素は多い。何らかの形で組織の一本化が必要だ」としている。

今後の需要は、高知市役所の新築工事、民間のマンション、市営住宅、高知東部自動車道の延伸工事などが見込まれている。

信頼関係の 醸成が重要

高知県央
生コン協組



鎮田勝文理事長

高知県央生コンクリート協同組合（鎮田勝文理事長、13社7工場）は、

2015年3月に設立した。混乱を続ける高知市内の市況を立て直すため、高知県生コンクリート協同組合連合会（山中伯理事長）が提案する4協組での共販事業に賛同する形で設立した。当時、高知市内の生コン価格が低迷する中、積算が下がりすぎたことで生コン業界だけでなくユーザーである建設業界からもクレームが出ていた。

協組連は2016年、高知県建設業協同組合と土木物件での生コン共同購買契約を結んだ。

愛媛県生コンクリート工業系 愛媛県生コンクリート協同組合連

理事長 花井 秀 裕
会 長

- 東予広域生コンクリート協同組合 理事長 飛鷹
- 東伊予生コン協同組合 理事長 門脇正弘
- 越智諸島生コンクリート協同組合 理事長 馬越卓也
- 中予生コンクリート協同組合 理事長 花井秀裕
- 南予生コンクリート協同組合 理事長 岩本 渉

〒790-0951 愛媛県松山市天山三丁目8番20号
TEL089(948)1705 FAX089(948)1567

中予生コンクリート協同組合

理事長 花井 秀 裕

〒790-0951
愛媛県松山市天山3-8-20
電話 089-948-1542
FAX 089-948-1158

今年4月からは各協組の過去4年間の実績を基にシェア割りした共販を開始した。

「単協で値戻しを進める考えもあるが、ユーザーの混乱を招く恐れもあり、協組連と足並みを揃えていく方針だ。前述のシェア割りで運営がうまく行き適正価格になれば、一つの協組に集約した広域協組を設立する可能性も出てくる。ただ、現段階では当協組も含め各協組、各社とも過去のしがらみを十分に払拭できておらず、もどかる。

高知市内では南海トラフ巨大地震による津波を防ぐ目的で、高知海岸線を整備する「三重防護」の工事が年明けから始まる。15年間かけておよそ20万㎡の生コンの出荷が見込まれており、早期の値戻しが期待される。